

本誌での特集主題“腸管の悪性リンパ腫”が連続編として、第23巻12号に次いで出されたのが本号である。前号は腸管悪性リンパ腫の形態学的特徴(X線・内視鏡像、切除材料での肉眼形態、組織学・免疫組織化学、組織型と肉眼型との相関など)に重点を置き、本号は鑑別診断、治療・予後、珍しい腸管悪性リンパ腫に重点を置いている。

それにしても、本誌を読んで“主題の内容に沿って記述し、鑑別診断上、何が大切かを明確にした文章にしてほしいものだ”と感ずるのは筆者だけではあるまい。また、鑑別上の各所見が各疾患ごとに、どの程度の重みづけがあるのかを明記し

てもらおうと、読者にも更に理解しやすいものとなろう。

いまだ腸管悪性リンパ腫は各施設で症例数も少なく、進行例が92~100%を占めている現状を考えると、牛尾らの早期形態像の提示や本誌2号にわたってコンパクトにまとめられた腸管悪性リンパ腫の形態学的特徴および数多くの写真が将来へ光明を与えるものであることを願いたい。

早期例の発見は、また、患者の治療や予後に大きな影響を与えるばかりでなく、腸管悪性リンパ腫の発生・進展の解明、組織診断基準の見直しにも大きく影響することになろう。

胃と腸

6月号(第24巻・第6号) 予告

発売予定 6月2日
定 価 1,854円

特集／急性胃粘膜病変(AGML)

序 説	急性胃粘膜病変と AGML	関東通信病院・消内	多賀須 幸 男
主 題	AGML をどう考えるか—臨床の立場から	山口大・1内	岡崎 幸紀・他
	外科の立場から見た AGML の概念	杏林大・1外	北島 政樹・他
	内科の立場から見た AGML の成因	旭川医大・3内	原田 一道・他
	急性胃粘膜病変(AGML)の成因—外科の立場から	北里大・外	塚本 秀人・他
	病理学的立場から見た AGML の概念	松山日赤・病理	岩下 明德・他
	内視鏡後の AGML—その現状と対策	関東通信病院・消内	多賀須幸男・他
主 題 研 究	比較診断学からみた AGML—X 線診断の検討	早胃検中央診療所	白壁 彦夫・他
座 談 会	急性胃粘膜病変(AGML)	旭川医大・3内	並木 正義・他
今月の症例	小腸平滑筋腫の1例	京都第一日赤・2内	多田 正大・他
初心者講座	食道検査法(18)	国立がんセンター・病理	板橋 正幸・他
	消化器疾患と US・CT—胃>その2<	自治医大・消内	木村 健・他

胃と腸 (第24巻 第5号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 社内案内 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1989年5月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,854円(本体1,800円)(配送料80円)

年ぎめ予約購読料21,136円(本体20,520円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1989, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当)長谷川・窪田・萩原・大竹